国際ロータリー第 2560 地区 2013-2014 年度「ガバナー月信」 2014.2.01

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2013-2014 Rotary International District

No.8

ガバナー　山﨑　堅輔

事務局：〒959-2627
新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ２F
TEL0254－28－8822　FAX0254－28－8826
E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp

CONTENTS

表紙ページ…… 1
ガバナーメッセージ…… 2
インターアクト献血キャンペーン …… 3
青少年交換クリスマス会…… 4
インターアクト 国際交流事業（スキー交流）…… 5
社会奉仕活動報告 小千谷 RC…… 6
社会奉仕活動報告 佐渡南 RC…… 7
ハイライトよねやま 166 号…… 8
ロータリー文庫…… 10
第 2560 地区 2013-2014 年度 12 月末 会員数および出席報告…… 11
裏ページ…… 12

世界理解月間によせて

国際ロータリー第 2560 地区
ガバナー 山﨑 堅輔（中条 RC）

皆様、如何お過ごしでしょうか。

２月、春近しとは言え寒さは益々厳しさを増して来ております。
お身体には呉れぐれもご自愛頂きながらロータリーを含め日々のご活動にお取り組み頂きますようお願い致します。

佐々木ガバナーエレクト殿は、2014.01.13 から始まったアメリカ、カリフォルニア州・サンディエゴでの国際協議会から帰国され、いよいよ次年度へ向けての本格的な準備が開始されました。皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年の暮れ 2013.12.26～28 には長岡高専インターアクトクラブと新井 RC の国際奉仕委員会が主体での恒例のインターアクト国際スキー交流会に参加しました。
長岡高専に在籍する留学生を始め、他校の留学生、沖縄高専からの参加者を含めて、学生同士の、スキー体験を通しての異文化交流と相互理解を育む素晴らしいイベントでした。
国際ロータリーが指定する「世界理解月間」の月、というタイミングで皆様にこのことをお伝え出来ることは、とても喜ばしいことです。

RI のテーマの通り、「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」を見事に実践されていました。こうした活動が、国際交流の輪を広げ、相互の理解で、平和という究極の目的を実現されんことを願ってやみません。

献血呼び掛けキャンペーン　あなたの愛を！

新潟万代ＲＣインターアクト委員長
近野　茂（新潟万代ＲＣ）

平成２５年１２月２３日（祝日）新潟市の万代シティバスセンターを中心として、新潟５校（新潟明訓高等学校・敬和学園高等学校・東京学館新潟高等学校・新潟県立新潟向陽高等学校・日本文理高等学校）インターアクトクラブ主催の献血キャンペーンが開催されました。

今回で１６年目となります。毎年年末から１月にかけては、輸血用血液が不足するため、この献血キャンペーンを行い、献血を呼び掛けている次第です。ロータリークラブはこの活動を毎年支援しており、今回は、日本文理高等学校とそのスポンサークラブである新潟万代ロータリークラブの担当で行われました。９月頃から準備を開始し、高校生が１２月１７日（月）にテレビ新潟での「新潟一番」で献血キャンペーンの紹介を行い、２３日のキャンペーンが行われました。

当日日本文理高等学校の福岡真太郎君の音頭で「寒さに負けず頑張ろう！」を全員で唱和し、配布物の袋詰めやコンサート会場の設営、チラシ配布を開始しました。当初より当日の天候が心配でしたが、朝は曇り空、昼ごろ若干雨模様、その後曇りとこの時期としては仕方ないというところでした。３時には無事終了し、３時半より約１時間恒例の慰労パーティーを行い、参加者等の紹介、高校生へは山崎ガバナーからの参加証が授与されました。参加者紹介で高校生の元気な声が印象的でした。

ちなみに当日の参加者は、約３００名（高校生・大学生・ローターアクト・ロータリアン等）、献血者数は例年並みでした。後援者各位、山崎ガバナー始めロータリアン各位、各高等学校の校長先生・顧問の先生方、赤十字血液センターの方々並びに関係者の方々に心より感謝申し上げます。

「第１回青少年交換オリエンテーション　＆ＲＯＴＥＸ主催クリスマス会」

国際ロータリー第 2560 地区
青少年交換委員長
倉茂　章(頸北ＲＣ)

昨年 12 月 22 日(日)ANAクラウンプラザホテルで第 1 回青少年交換オリエンテーションとROTEX(青少年交換学友)主催のクリスマス会が開催されました。当日は、山﨑堅輔ガバナー、佐々木昌敏ガバナーエレクト、山本和則ガバナーノミニーのご来賓に加え関係者総勢 33 名のご参加をいただきました。

第 1 部 1 年派遣候補学生に対するオリエンテーションでは、今年 8 月に派遣予定の学生に対し、「ロータリーの交換学生としての心構え」を中心に説明を行いました。この派遣候補学生は昨年 11 月 23 日の選考試験により選抜された白石義愛さん(敬和学園高校 1 年、新発田 RC 推薦)、本間孔明さん(敬和学園高校 2 年、村上 RC 推薦)、野口ひかるさん(万代高校 2 年、新潟南RC推薦)、筑波徳之さん(長岡高専 3 年、長岡RC推薦)、東條拓人さん(上越高校 1 年、新井RC推薦)の 5 名です。ロータリーの青少年交換は単なる語学研修や観光旅行ではありません。派遣候補学生にはロータリー親善大使としての使命があり、目的意識を明確にするようにお話をいたしました。

第 2 部では、派遣候補生、来日学生のスピーチ、ROTEXからのアドバイスがありました。ROTEXとは青少年交換留学修了者で青少年交換学友です。自らの留学経験談は派遣候補学生にとって何よりも貴重なアドバイスになります。

ROTEX主催クリスマス会は、ROTEXの渡辺直美さん(新潟大学)四家井啓人さん(敬和学園大学)が中心となり、クイズ大会、プレゼント交換等の催しを行い、来日学生、派遣候補学生、ホストファミリーの皆さんと楽しい時間を過ごすことが出来ました。

ロータリーの青少年交換は留学して終わりというものではありません。留学終了後もROTEXとしてロータリー活動に参加します。そこで我々ロータリアンと共にロータリーの精神を学び、共に成長していける場を提供することもロータリーの務めと考えております。

第 20 回インターアクト冬季スキー国際交流

新井ＲＣ 国際奉仕、青少年奉仕委員会
佐藤 明臣(新井ＲＣ)

2003 年、長岡工業高等専門学校がホスト校となったインターアクト年次大会に参加した際多くのアジア諸国からの留学生に出会い大変感銘を受けました。彼らはあまり雪の文化に触れたことがない子供達だと知り、そこで妙高のウィンタースポーツにお誘いしました。

時の I.A.C 部長田中和宏君に伝え、翌年 2 月に佐藤公俊先生の指導のもと十数人の参加者を募り 1 回目の交流会を実施しました。2013 年 12 月 26 日～28 日をもって 10 年目「第 20 回長岡高専インターアクトクラブスキー国際交流」を実施し、現在も継続発展しており年々このプログラムが理解され好評を得ていると感じています。沖縄高専の新垣君はじめ九州本州北海道の留学生達が参加しており、マレーシア、ベトナム、モンゴル、ラオス、インドネシアなどアジア諸国留学生にも輪が広がり、2013 年 3 月には青少年交換学生も初めて参加し今後参加人数が増えるのを期待しております。

今回の交流会において、引率の先生をはじめ、新井 RC、多くの皆様より協力支援をいただき山﨑堅輔ガバナーからも胎内市よりお忙しい中をご出席いただきました。お仕事の話、多岐にわたる御趣味の話などを参加者とうかがうことができ楽しい交流会を無事に終えることができました。学生達にとってはとても貴重で心に残る経験と思い出を作る機会を与えられたのではと思います。

この活動は、第 2560 地区の国際交流の大切な活動と考えます。地区の特色を活かした交流がアジア諸国、世界に広まり、大勢の留学生が楽しみに日本に来てくれること、そしてこのプログラムに参加した留学生たちの世界が広がることを願います。将来を担い世界にはばたくインターアクター育成の一助になれば幸いです。

出前コンサート　50 回達成

小千谷ロータリー混声合唱クラブ代表
小田島 美智子（小千谷ＲＣ）

私たち自身が「やがて～行く道」高齢化社会！

老化防止と健康的な趣味作りを目的として、「歌の下手な横好き６名」で 7 年前に結成。雨の日、雪の日も月 2～3 回、20 時～老眼鏡で譜面を追い、汗を拭きつつ新野先生の叱咤と激励に耐え、練習を重ね、月に 1･2 度のペースで「高齢者施設」に「唱歌の出前コンサート」の活動を行ってきました。その地道な活動が此の度、50 回を迎えました。

この頃は:「是非！当施設にも～！」と各所でお声を掛けていただき嬉しい悲鳴です。最初は遠慮がちの入所のみなさんも、懐かしい唱歌を共に歌い、手拍子を取るうちに瞳が輝き、頬に赤みが差し、笑顔になり、大きな声も出てきます。
そして感動の涙まで流して下さいます。（私たちももらい泣きで歌えなくなるのです）

平成 25 年 11 月 14 日、夕刻、私たち「小千谷Ｒ混声合唱クラブ」14 名は市内小ホールにて鈴木前ガバナーご夫妻はじめ、ご来賓及び会員メンバーのご臨席を得て「出前コンサート 50 回記念コンサート及び祝賀会」を行いました。正直なところは～当初は仲間同士の思い付き、気楽な自分たちの楽しみ～程度でした。それが間もなく7年！ここまで長く継続できた理由は、小千谷クラブのみなさまの物心両面のご支援、そして忙しさの中、練習と出前コンサートに、その都度、駆けつけ、参加してくれた合唱メンバーの努力の賜物です。
「小さな社会奉仕活動」にすぎませんが、メンバー同士励まし合い、可能な限り頑張ります。

小千谷ロータリー合唱クラブ現況

・発　　足：平成18年(２００６)　１２月
・メ　ン　バ　ー：歌の好きなロータリー会員と配偶者
　　男性９名・女性５名
・ご 指 導 講 師：新野一枝先生
・行っている事：高齢者施設等への
　　「唱歌の出前コンサート」
・実　施　場　所：小千谷市内及び魚沼市等
　　近隣の高齢者介護施設等

合唱クラブの出前先様（略敬称）

・出前コンサート先　:那由多の家、水仙の家、さくら、うかじ園、中子の森、うおの園、春風堂、小千谷養護老人ホーム、前島ふれあいセンター　　等41回

・発表会等:ロータリー地区大会、手をつなぐ親の会・賛助出演、新野教室発表会音楽の花束コンサート、市民音楽会、コール・ヴァフナコンサート　等9回
合計:50 回

オレンジ色の街道造り

佐渡南ロータリークラブ
会長　佐々木弘喜

佐渡の北の海に突出する亀形の巨大一枚岩が、トビシマカンゾウでオレンジ色に染まる。その群生の見事さ、素晴らしい景観は新潟県で唯一のミシュラン２ツ星に選定されているほどです。以前は野焼きや放牧でカンゾウにとっては良い環境だったのですが、現在はカンゾウの群生地を守ってゆくには人の力が必要となっています。

佐渡島内には群生地が３か所あります。その中でも江戸時代に相川から金を運んだ街道沿いの長浜群生地に私達は７年前から毎年 1,000 株近くの苗を補植しています。この苗は佐渡総合高校の生徒らが毎年種から栽培している３年生苗で、高校生達と一緒に愛情を込めながら一株ずつ丁寧に植えていきます。その後の草刈り作業も我がクラブの大切な奉仕活動です。２キロに及ぶオレンジ色の街道造りは終わることのない奉仕活動ですが、続けていくことに意義ある活動と考えています。世代を超えた奉仕活動に、色鮮やかなオレンジ色の未来が見える気がします。

毎年トビシマカンゾウの苗を栽培している生徒達、植え付けに汗を流して頂いている地域の方々、そして我がロータリーメンバーに感謝です。

2014 年 1 月 14 日発行［月刊］
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 166

1 寄付金速報 ― 2014 年もよろしくお願いします ―

12 月までの寄付金は前年同期と比べ 1.6%増、約 1,270 万円の増加です。普通寄付金が 0.3%減、特別寄付金が 2.3%増となりました。また、7～12 月の累計額は 8 億 2,600 万円と、直近 5 年間で最高額となりました。ロータリアンの皆様に厚く御礼申し上げます。

今月初めに「2013 年度 下期普通寄付金のお願い」を、各ガバナー事務所経由で全クラブにＥメール（一部 FAX）でお送りしています。普通寄付金は当事業の重要な安定財源であり、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に財団法人設立の許可を得た経緯があります。また、当事業は全地区が参加する「多地区合同活動」であることをご理解いただき、今年もご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

2 恩恵の倍返しだ！ ― 台湾米山学友会総会開催 ―

台湾米山学友会（正式名称：社団法人中華民国扶輪米山会）の年次総会が 12 月 14 日、台北市内で開催され、米山学友 67 人と、来賓や日本からの参加者を合わせて 120 人以上が出席しました。

今回の総会のテーマは、日本で流行したドラマの決め台詞をもじった「恩恵の倍返し」。このドラマは台湾でも大ヒットし、昨年、第 6 代理事長に就任した林維宏さんも、久しぶりに夢中になって見たそうです。総会の挨拶に立った林理事長は、同学友会が日本への恩返しとして、台湾に留学する日本人支援の奨学金を 2009 年から継続していることに触れ、これまでに支援を寄せたすべての関係者にあらためて感謝を表わすとともに、「“恩恵の倍返し”をモットーに、これからも事業のさらなる発展に努力していきたい」と、決意を述べました。日本人奨学生 2 人は登壇して林理事長から奨学金を受け取り、前年度奨学生とともに、台湾学友会への厚い感謝を述べました。

日本人奨学生に奨学金を授与する林維宏さん

板橋敏雄・米山奨学会理事長から会員バッジを贈られる新入会員の旅さん

当日は、新たに入会した 6 人の学友も紹介され、来賓として出席した当会の板橋敏雄理事長と、第 2660 地区米山学友会の何玉翠会長から、学友会の会員バッジが授けられました。

台湾では 2015-16 年度、2 人目の米山学友出身のガバナーが誕生します。第 3520 地区のガバナーノミニーに選出された学友の林華明さん（1984-86／東京世田谷ＲＣ）も今回の総会に出席し、台湾学友や日本の来賓たちとの親交を深めました。

3 米山奨学生2人が入賞 ― コラム＆フォトエッセイコンテスト ―

留学生および日本留学経験者らを対象とした「GVJ Column & Photo Essay Contest 2013」（主催:GVJ 実行委員会、共催:渥美国際交流財団、後援:共同通信社ほか）において、以下 2 人の米山奨学生の応募作品が入選作に選ばれました。受賞作は、日本語、英語、中国語（簡体・繁体）、ハングルの 4 言語に翻訳後、GVJ のウェブサイト（http://www.glovoices.com/）および共同通信のウェブサイトなどに掲載され、世界の人々の“異文化理解”に貢献することを目的に発信されます。梁さん、ソケさん、受賞おめでとうございます！

【コラム部門】優秀賞

『日本女性の美しさの秘密、日本のトイレ、この魔法のような空間』

梁　梓芸 さん

（台湾/2012-14/横浜西ＲＣ）

「いつも応援してくださる皆さまのおかげで、優秀賞を頂くことができ、光栄です。原文は中国語ですが、大変美しく読みやすい日本語に翻訳して頂きましたので、ぜひ多くの方に読んでいただければ幸いです」

【フォトエッセイ部門】入賞

『わたしたちのわびさび』

ソケ・ケムバンディットさん

（カンボジア/2012-14/大津ＲＣ）

「留学生ならではの視点で、日本の美意識をより深く理解するため、今回のテーマを選びました。入賞することができて大変嬉しいです。とても言葉では言い表せないくらい、いつもロータリーの皆さまに感謝しております」

4 今年の年賀状は米山学友が作りました

ロータリー米山記念奨学会事務局では、評議員・理事・地区米山奨学委員長、他奨学団体などへ、毎年約500枚の年賀状を送っています。今年は初の試みとして、学友に年賀状のデザインをお願いしました。制作してくれたのは、第 2660 地区（大阪府北部）の米山学友、黄詠翔さん（台湾／2012-13／大阪鶴見ＲＣ）です。黄さんは、大阪コミュニケーションアート専門学校でデジタルアニメーションを学び、現在はグラフィックデザイナーの仕事をしています。

―黄さんからのメッセージ―

米山奨学生になったことでたくさんの出会いがあり、豊かで充実した毎日を送りました。僕はまだまだ未熟ですが、いつか自分の力で米山奨学会に恩返ししたいと思っています。今回、年賀状を作るチャンスをいただいて、本当に大変光栄だと思い、感謝の気持ちを込めてデザインしました。これからもたくさん勉強して、より力にならせていただきたいです！

確定申告用領収証　～1 月末日までにクラブへお届けします～

昨年 1 年間（1～12 月）に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付金の領収証を申請したクラブには、1 月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。

モンゴル米山学友会創立記念祝賀会のご案内

海外 6 番目となる米山学友会が、モンゴルに誕生します！ **2014 年 3 月 1 日（土）** 15 時、ウランバートルで開催されます。参加希望の方は 2 月 10 日までにジャンチブ・ガルバドラッハさんまで（email：mongakuyu@gmail.com、FAX：+976-11-461122）。航空券手配、ホテル予約、滞在スケジュールなども相談できます。また当会 HP にも詳細情報を掲載します。

公益財団法人　ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津・峯

平成２６年１月２４日

ガ　バ　ナ　ー　各　位

ロータリー文庫運営委員会
委 員 長　　戸 田 一 誠

拝　啓
初春の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。
また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。
このたびは、下記９点をご紹介いたしますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。
なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬　具

追　伸　下記ご掲載の場合は［申込先］もご記載下さるようお願い致します。

文　庫　通　信（317号）

ロータリー文庫」は日本ロータリー５０周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。ホームページの「ロータリー文庫について」欄もご覧ください。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

ロータリー最近の文献より（２）

◎「『奉仕の理想』をめぐって　その２」　本田博己　2013　4p（D.2840月信）

◎「『四大奉仕』がどうして『五大奉仕』になったのか？」本田博己　2013　3p（D.2840月信）

◎「『職業奉仕』はロータリーの根幹か？」　本田博己　2013　4p　（D.2840月信）

◎「地区大会　その１～３」　深川純一　伊丹R. C.　2013　3p　（純ちゃんのコーナーPartⅫ）

◎「ロータリーの歴史年表」　諏訪昭登　2013　7p

◎「JUSTICE in The ROTARY ロータリーの正義」　田渕水作夫　2013　69p

◎「あかあかや　あかあかあかや」　市川伊三夫 〔2006〕 2p（ガバナー所感集）

◎「近頃の世相に想うこと」　市川伊三夫　〔2006〕 2p　（ガバナー所感集）
［上記申込先：ロータリー文庫］

◎「国際ロータリー日本人RI理事と日本ロータリー９３年の流れ」前岡志郎　2013　8p
［申込先：前岡志郎 FAX(0977)26-1444］

ロータリー文庫
〒105－0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL（03）3433-6456・FAX（03）3459-7506　　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前 10 時～午後 5 時　　休館＝土・日・祝祭日

第2560地区　2013-14年度　12月末　会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数 7月1日現在	12月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)		88.86	345	348	36	3
新発田	3	99.19	85	86	0	1
村上	4	86.36	32	33	7	1
水原	4	85.55	26	26	1	0
中条	4	91.41	31	32	3	1
新発田城南	4	86.88	42	41	6	−1
豊栄	4	86.53	26	27	4	1
新発田中央	3	90.66	50	50	5	0
中条胎内	4	86.21	29	29	5	0
村上岩船	3	86.96	24	24	5	0
第2分区(9クラブ)		87.55	405	426	14	21
新潟	4	88.17	83	93	0	10
新潟東	3	89.79	53	55	4	2
新潟南	3	92.92	85	92	0	7
佐渡	4	89.60	12	12	0	0
新潟西	4	77.16	32	33	0	1
佐渡南	4	90.17	42	44	4	2
新潟北	3	83.78	36	38	0	2
新潟中央	3	93.06	23	22	0	−1
新潟万代	3	83.33	39	37	6	−2
第3分区(6クラブ)		73.37	138	136	8	−2
新津	4	71.00	25	24	1	−1
村松	4	86.00	9	9	0	0
五泉	4	74.89	21	21	3	0
白根	4	75.00	43	44	2	1
新津中央	4	70.84	31	29	1	−2
阿賀野川ライン	3	62.50	9	9	1	0
第4分区(11クラブ)		77.32	352	358	18	6
三条	4	83.05	54	56	0	2
燕	4	62.11	25	28	1	3
加茂	4	74.99	31	32	5	1
三条南	3	88.57	44	45	0	1
分水	4	76.79	29	29	2	0
見附	3	82.00	18	20	1	2
吉田	3	85.60	33	33	1	0
三条北	4	77.54	71	68	3	−3
巻	4	87.50	11	10	0	−1
田上あじさい	3	45.80	6	6	1	0
三条東	4	86.61	30	31	4	1

R C	例会数	出席率	会員数 7月1日現在	12月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)		88.89	300	301	30	1
長岡	3	89.98	37	39	2	2
柏崎	3	92.03	47	46	0	−1
長岡東	3	92.00	63	64	7	1
柏崎東	3	94.80	44	45	5	1
栃尾	4	83.70	25	23	0	−2
長岡西	3	84.93	44	45	5	1
柏崎中央	4	84.79	40	39	11	−1
第6分区(6クラブ)		88.36	148	151	6	3
十日町	3	95.95	32	33	0	1
小千谷	3	95.51	38	39	3	1
雪国魚沼	4	77.80	21	21	1	0
十日町北	4	97.72	22	22	1	0
津南	3	81.95	24	24	1	0
越後魚沼	4	81.22	11	12	0	1
第7分区(9クラブ)		80.73	302	302	27	0
高田	3	97.78	58	56	1	−2
直江津	4	71.21	37	41	2	4
新井	4	76.61	29	31	3	2
糸魚川	3	78.92	36	37	1	1
妙高高原	0		4	0	0	−4
高田東	3	72.80	38	38	3	0
糸魚川中央	3	80.21	33	33	0	0
頸北	4	87.50	15	15	1	0
越後春日山	3	80.77	52	51	16	−1

妙高高原RCは11月末で解散致しました。

クラブ数	56	クラブ
7月1日　会員数	1,990	人
12月末 会員数	2,022	人
女性会員数	139	人
純増減会員数	32	人
当月平均出席率	83.51	%

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2560

インターアクト冬季スキー交流会 in 妙高杉ノ原スキー場

国際ロータリー第2560地区 山﨑ガバナー事務所

〒959-2627　新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ２F
℡0254－28－8822　FAX0254－28－8826
E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp